

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日（土）～12日（日）

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 32	
企画名	サルコペニアとリハビリテーション栄養－高齢化社会におけるプライマリケアスタッフが果たす障害予防－
日時	2016年6月12日（日） 15:30～17:00
会場	第8会場（台東区民会館 8階 第2会議室）
企画責任者	若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科）
定員	72名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>サルコペニアとリハビリテーション栄養の基礎知識を学習して、臨床現場でサルコペニアの方に気づき、その原因を多職種で評価して介入できるようになることです。</p> <p>【概要】</p> <p>サルコペニアは進行性、全身性に認める筋肉量減少と筋力低下で、身体機能障害、QOL低下、死のリスクを伴います。サルコペニアと低栄養はフレイルの中核要因で、高齢化社会において障害予防にもプライマリケア医が果たすサルコペニア対策の意義は大きいと考えます。</p> <p>また、サルコペニアにより全身および嚥下関連筋の筋肉量減少、筋力低下による摂食嚥下障害も起こります。誤嚥性肺炎の治療時に「とりあえず安静・禁食・水電解質輸液」を行った結果としてサルコペニアの摂食嚥下障害を認めることがよくあります。</p> <p>サルコペニアの治療は原因によって異なり、リハビリテーション栄養の考え方が有用です。リハビリテーション栄養とは、栄養状態も含めて国際生活機能分類で評価を行ったうえで、障害者や高齢者の機能、活動、参加を最大限発揮できるような栄養管理を行うことです。本WSでは、フレイルおよび摂食嚥下障害予防を目的としたサルコペニアの評価、治療について症例検討を通じて学びます。多職種の参加を歓迎します。</p>	